

新たな国際戦略（仮称）素案について

1 策定の目的と位置づけ

(1) 目的

国際事業を推進する枠組みや方向性、重点的に取り組むべき事項など、全庁的に共有すべき考え方を整理し、国際事業をより戦略的に推進するため

(2) 中期4か年計画2014-2017における目標値

指標	直近の現状値	目標値（29年度末）	所管
新たな国際戦略の策定・推進	—	策定・推進	国際局

(3) 位置づけ

中期4か年計画や本市の各計画と連動しながら、計画に記載された事業や、中長期的に取り組むべき事業を推進するにあたっての基本的な考え方をまとめたもの

2 策定プロセスおよびスケジュール

(1) 検討経過

- ・国際戦略推進本部会議による議論（4月、7月）
- ・国際戦略推進本部実務者会議（課長級）による議論（4月、6月）及び個別調整等

【参考】国際戦略推進本部

○メンバー

国際局所管副市長（本部長）、国際局長、温暖化対策統括本部長、政策局長、総務局長、市民局長、文化観光局長、経済局長、環境創造局長、港湾局長、水道局長、教育長、中区长

○協議事項

- ・本市の国際政策に関する戦略、予算等の重要な方針の策定及び進捗管理
- ・本市の国際政策に関する重要案件への対応策
- ・各区局統括本部で実施する国際事業の連携策
- ・その他、各区局における国際事業の連携を強化し、本市の国際政策を戦略的に推進するため必要な事項

(2) 策定時期

年度内を予定

3 素案の内容

別添概要版及び素案のとおり

位置づけ等

第1章 「新たな国際戦略」の目的と他の計画等との関係

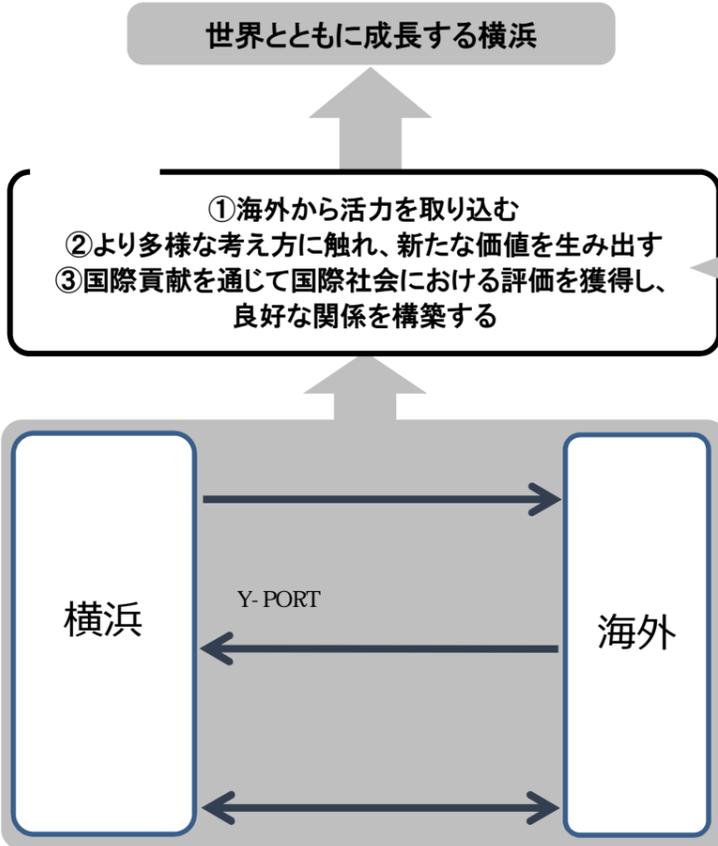
- ・目的：全庁的に共有すべき考え方を整理し、国際事業をより戦略的に推進するため
- ・本戦略は、中期4か年計画の各計画と連動（おおむね2020年までを想定）
- ・策定後、関連計画等は必要に応じて修正。

第2章 横浜市の国際施策の歩み

- ・国際都市横浜に関する市民のイメージ、国際社会からの評価（Eco2都市、リー・クアンユー世界都市賞など）
- ・今後の事業展開に向けて、各分野における国際事業のこれまでの積み重ねを再確認

事業の枠組み

第3章 国際事業推進の意義



第4章 国際事業推進の目標と想定事業内容

目標	想定事業内容
	-
	APEC
	Y-PORT

（絞り込み）

本市の強みと機会を活かすとともに、新たな強みを作る

【強み】

【機会】

MICE

2019 2020

第5章 重点的な取組事項

- ① 国内外への積極的な発信**
 - ・女性の活躍促進をはじめとした都市が抱える諸問題の解決に向けて、国際社会の要請に応えるとともに、イニシアティブを発揮。本市の事業について、ターゲットに適した媒体を選択しながら積極的に発信。
 - ・留学生や研修生を、横浜の魅力を伝えてくれる「広報パーソン」として意識して事業展開
- ② 都市間ネットワークとパートナーシップの強化**
 - ・様々な機会をとらえ、都市間ネットワークやパートナーシップの強化を図るとともに、海外の大学や研究機関との連携を一層強化し、国際事業の発展につなげていく。
- ③ 観光・MICE、大規模国際イベントの開催支援**
 - ・本市を訪問する外国人が増加する中、外国人の受け入れ環境を整備
 - ・MICE開催支援と、新たなMICE施設整備を推進
 - ・オリンピック・パラリンピックを契機に各種文化プログラムの開催
- ④ 企業誘致、海外展開支援**
 - ・ビジネス環境の向上、魅力ある住環境の整備、進出企業への支援と積極発信
 - ・優れた技術やサービスを持つ市内企業の海外市場開拓・海外展開を支援
- ⑤ Y-PORT事業**
 - ・新興国のインフラ需要は大きなビジネスチャンス。技術協力に関する覚書を締結している4都市においては、これを土台に具体的な案件形成に。さらに、新たな都市との連携を推進。
- ⑥ 若年層の交流拡大・次世代育成**
 - ・これまでの交流実績や豊富な交流機会を生かした若年層の交流拡大・次世代育成
- ⑦ 多文化共生による創造的社会的実現**
 - ・在留期間の長期化・定住化に伴い、教育や就労、医療・福祉、防災などのニーズが増大
 - ・相互に理解し合い、協調・連携して未来を担っていく環境を整備

事業展開の方法

第6章 国際事業への取組姿勢

第7章 国際事業の推進体制整備